

授業科目 リハビリテーション概論

【担当教員名】 石井 雅子 他		対象学年	1	対象学科	視機
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 リハビリテーション医療のチームアプローチによって QOL を改善させようというリハビリテーション医学の基本を学ぶ。同行援護従業者（視覚障害）資格取得に必要な内容を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1 障害者福祉に関する制度およびサービスを理解できる 2 情報支援・代筆・代読の基礎知識を理解できる 3 障害者（児）の心理を理解できる 4 視覚障害と疾病について説明できる 5 移動支援に係る技術を習得することができる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、視覚障害者（児）福祉サービス			1	菊入昭
2	同行援護の制度と従業者業務			1	菊入昭
3	同行援護の基礎知識（1）			1-2	森田有子
4	同行援護の基礎知識（2）			1-2	森田有子
5	情報支援と情報提供（1）			2	石井雅子ほか
6	情報支援と情報提供（2）			2	石井雅子ほか
7	代筆・代読の基礎知識（1）			2	石井雅子ほか
8	代筆・代読の基礎知識（2）			2	石井雅子ほか
9	障害者（児）の心理（1）			3	松永秀夫
10	障害者（児）の心理（2）			3	石井雅子
11	同行援護実技確認（1）			5	森田有子 進藤真紀ほか
12	同行援護実技確認（2）			5	森田有子 進藤真紀ほか
13	障害・疾病の理解（1）			4	石井雅子
14	障害・疾病の理解（2）			4	石井雅子
15	まとめ			1～5	石井雅子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		同行援護従業者養成研修テキスト 第2版同行援護従業者養成研修テキスト	編集委員会編集	中央法規	2,400円
参考書					
その他の資料		適宜、プリントを配布する。			
【評価方法】 小テスト、定期試験、授業参加状況を総合して評価する。			【履修上の留意点】 同行援護従業者資格に対応する科目である。別途、日程表を配布する。欠席がある場合は、資格認定ができない。一部、補習が入る。		